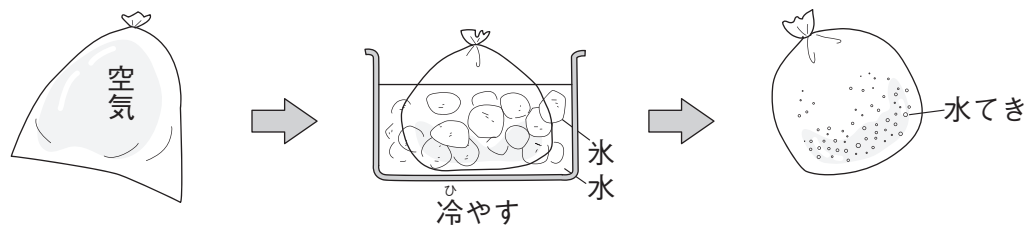




自然の中の水 ③ 水のゆくえ

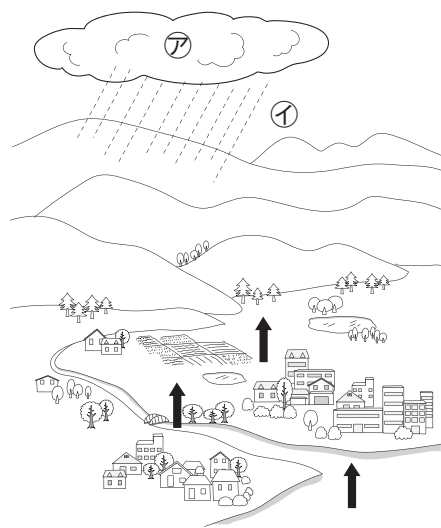
1 次の()にあてはまる言葉を□から選んでかきましょう。



(1) (①) をビニールぶくろに入れ、十分(②) ます。すると、ぶくろの内側に(③) がつきます。空気中の(④) が冷やされて水てきに変わることを(⑤) といいます。

空気 水てき 水じょう気 けつ 結ろ 冷やし

(2) 水は熱(ねつ)しなくても、地面や川、(①) などからじょう発して(②) となって空気中へ出ていきます。水じょう気は空の高いところで(③)、アのような(④) になります。水のつぶが地上に落ちてくる①を(⑤) といいます。



雨 雲 冷やされて 水じょう気 海



じょう発して、空気中にふくまれた水は、雨や雪をはじめ、いろいろな形で目に見ることがあります。

2 次の()にあてはまる言葉を□から選んでかきましょう。

(1) 空気中の(①) が水てきになってできたのがアの(②) です。アからふった(③) が地中にしみこみ、川を通り、海へ流れこみます。

(①) が地面近くで冷やされて、水の小さなつぶになったのがイの(④) です。



雨 雲 きり 水じょう気

(2) 土の中の水が、冷やされて固体(こたい)の(①) になり、土をおし上げるのがしも柱です。また、空気中の(②) が植物などにふれて冷やされ、えき体の水の(③) になったものがうゆで、地面に冷やされて(④) の氷のつぶになり、はりついたものがしもです。自然界(しぜんかい)では、水は氷や雪などの固体、水のえき体、水じょう気の気体のすがたをしています。

固体 つぶ 氷 水じょう気